

の活性化により来店客数が増加したことに加え、パン・菓子・ソフトドリンクなどが好調に推移した。来店客数は1・7%増の11億9937万人、平均客単価は0・4%減の738円だった。

小売業界1月の売上高

全団体に前年超え

スーパーの青果、総菜好調

小売の業界団体は1月の売上高を発表した。

【スーパー】

スーパー(日本チェーンストア協会、54社)は1万845店舗の売上高は1兆1375億円、既存店で前年を1・9%上回った。食料品全体では3・5%増の7908億円。節約志向から購入点数の減少が続いているが、店頭価格の上昇でカバーし売上げは良かった。農産品は3・8%増、総菜は4・7%増加した。

【食品スーパー】

食品スーパー(全国スーパーマーケット協会など)3団体、270社・8380店舗の売上高は1兆93億円、既存店で前年を1・8%上回った。生鮮3部門の合計は1・1%増、うち青果は2・4%増。総菜は3・3%増加した。地区別では九州・沖縄エリア以外は前年を上回った。

協)の供給高(売上高)は2455億円、前年より微増した。業態別では店舗が前年比2・9%増の857億円、宅配が0・5%減の1547億円。宅配のうち個配は微増の1188億円だった。店舗では農産品、水産品、総菜、日配品、コメ、加工食品・菓子などが前年を超えた。宅配では、1月第一週目の配達を休む生協が増え、稼働日数の減少により前年割れとなった。

【百貨店】

百貨店(日本百貨店協会、72社・180店舗)の売上高は4593億円。既存店で前年比7・1%増となった。入店客数は5・2%増。食料品は3・2%増の1116億円。ギフトや手工産品、インバウンド需要などから菓子が牽引したほか、食関連の複葉も伸長した。生鮮食品は前年並み、総菜は2・2%増。

【コンビニ】

コンビニ(日本フランチャイズチェーン協会、7社)の売上高は9229億円。既存店で前年を1・2%上回った。好天

野菜は、ジャガイモ、ダイコン、トマト、ネギ、タマネギ、ミニトマト、イモ類、カット野菜などの動きは良かったものの、ハクサイ、キャベツ、キウウリ、ピーマン

【生協】

日本生活協同組合連合会(全国66主要地域生

に恵まれたことや、年始の旅行・帰省による人流